

令和6年度アンケート集計結果（東新町・小茂根地域）

概要版

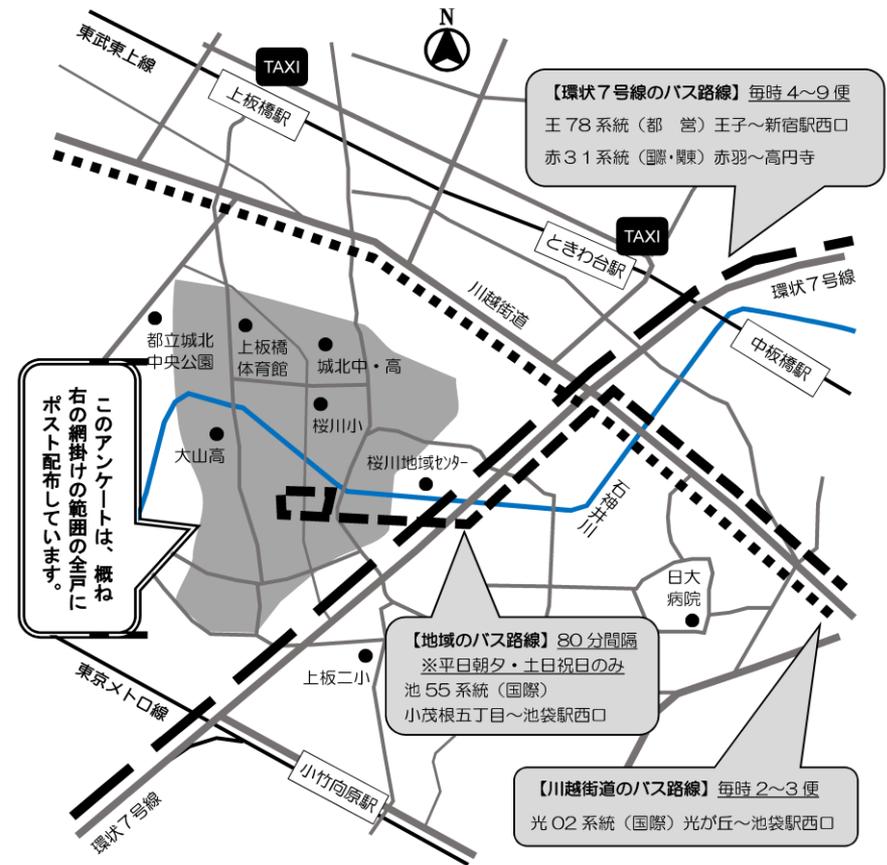
板橋区 都市整備部 都市計画課

1. アンケート実施概要

アンケート実施概要

- 対象:東新町・小茂根周辺住民
- 期間:令和6年7月13日 から 令和6年8月4日
- 配布:対象住戸の郵便ポストにポスティング
(3,071世帯)
- 回収:返信用封筒にて郵送(受取人払)
- 回収数:582世帯・966人分回収
- 回収率:19.0%(世帯票計算)
※ 個人票回答数換算で31.5%

アンケート配布範囲

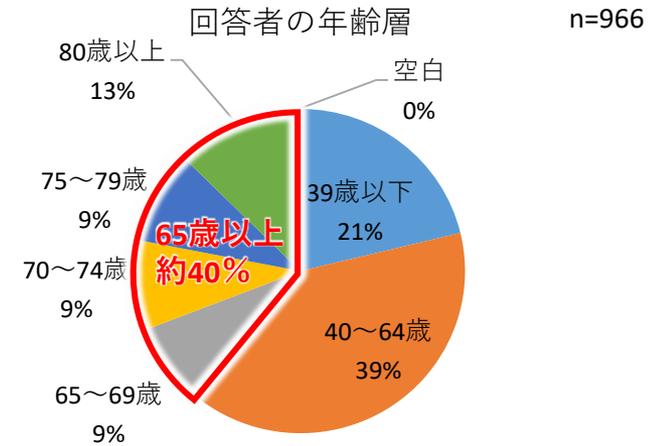


2. 回答集計結果

年齢

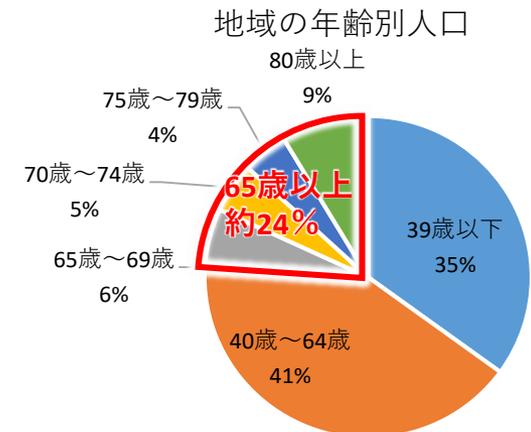
○回答者の年齢は、約40%が65歳以上の高齢者である。

年齢層		回答数		割合
64歳以下	39歳以下	205		21%
	40～64歳	378		39%
前期高齢者	65～69歳	171	85	9%
	70～74歳		86	9%
後期高齢者	75～79歳	209	90	9%
	80歳以上		119	13%
年齢未記入（空白）		3		0%
合計		966		100%



【参考】地域の町丁目別年齢別人口（令和6年11月1日現在）

	39歳以下	40～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上
小茂根3丁目	704	1126	145	172	118	141
小茂根4丁目	1374	1073	122	91	92	246
小茂根5丁目	341	336	36	32	28	59
東新町2丁目	1121	1635	252	207	206	383
桜川2・3丁目	634	753	112	91	95	198
合計	4174	4923	667	593	539	1027
割合	35%	41%	6%	5%	4%	9%



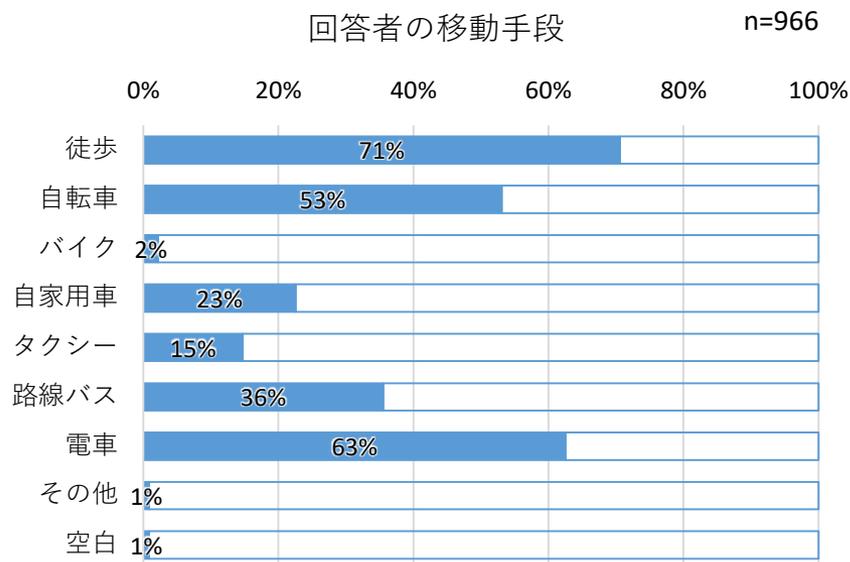
出典：板橋区HP（令和6年 町丁目別年齢別人口表）

2. 回答集計結果

日常の移動手段

- 徒歩が最も多い(71%)
- 次いで電車(63%)、自転車(53%)、路線バス(36%)、自家用車(23%)となっている。

回答者の移動手段（複数回答）	回答数	割合
徒歩	682	71%
自転車	513	53%
バイク	21	2%
自家用車	218	23%
タクシー	142	15%
路線バス	343	36%
電車	604	63%
その他	8	1%
空白	8	1%
総計	966	100%



<その他回答>

- ・車（知り合い）
- ・カーシェア（家族が運転）
- ・社用車
- ・サポートカーを使用
- ・施設の送迎車・バス
- ・福祉タクシー
- ・車いす
- ・電動車いす
- ・シェア型電動キックボード
- ・歩行器利用

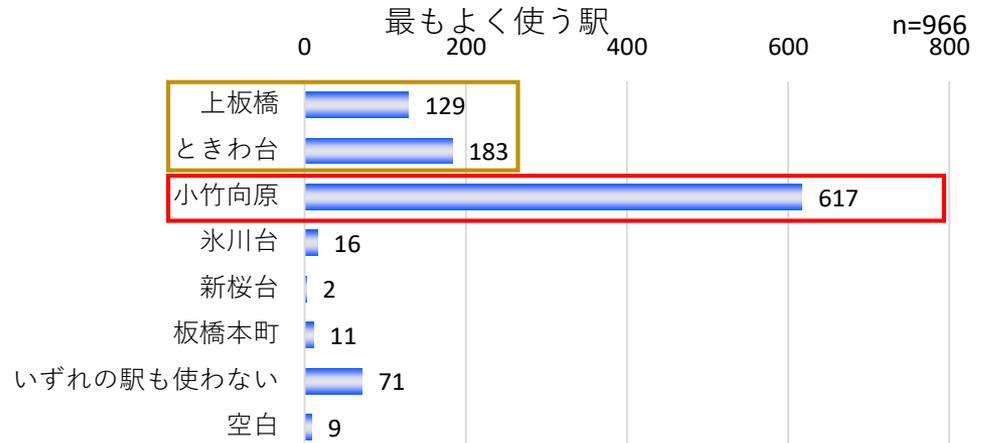
2. 回答集計結果

※複数の回答があった場合は、それぞれの選択肢に計上。

最もよく使う駅

○「小竹向原駅」の利用が最も多く、次いで「ときわ台駅」、「上板橋駅」となっている。

最もよく使う駅	回答数
上板橋	129
ときわ台	183
小竹向原	617
氷川台	16
新桜台	2
板橋本町	11
いずれの駅も使わない	71
空白	9
総計	1038

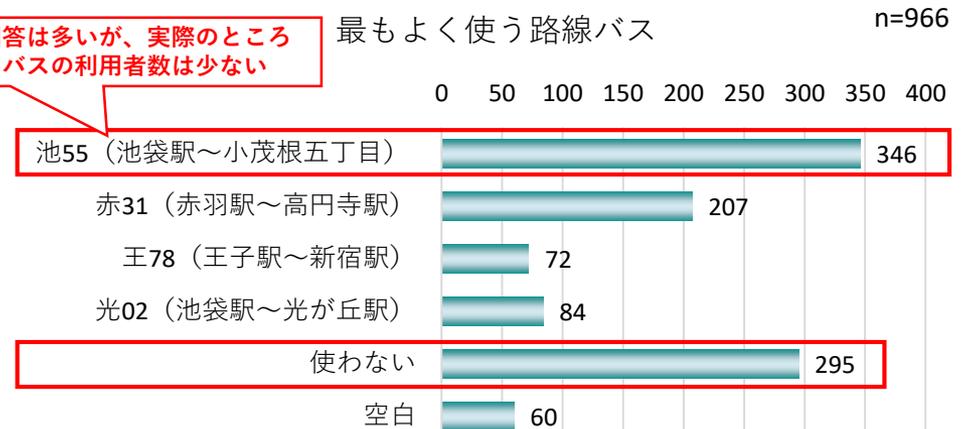


最もよく使う路線バス

○路線バスの利用は池55（池袋駅～小茂根五丁目）の利用が最も多く、「使わない」との回答が次いで多い。

最もよく使う路線バス	回答数
池55（池袋駅～小茂根五丁目）	346
赤31（赤羽駅～高円寺駅）	207
王78（王子駅～新宿駅）	72
光02（池袋駅～光が丘駅）	84
使わない	295
空白	60
総計	1064

回答は多いが、実際のところバスの利用者数は少ない



2. 回答集計結果

フレイル項目の該当数

■フレイル項目

以下の4項目をフレイルに該当する項目として設定

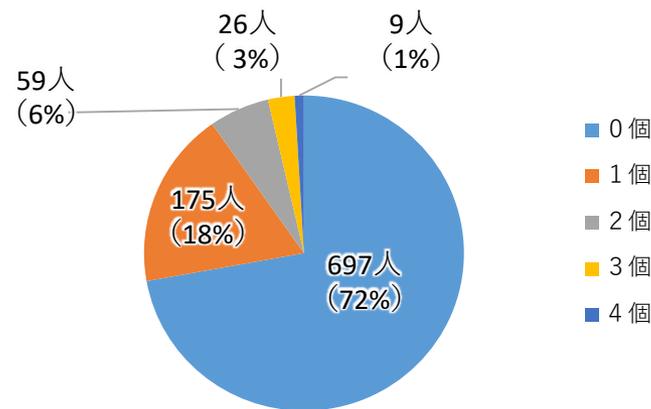
項目	項目内容
1	歩ける距離が「100mまで」若しくは「外出には誰かの解除が必要」
2	歩行中につまづくことがある
3	階段を上がる時に手すりが必要
4	2kg（牛乳パック2個）程度の買い物をして持ち帰るのが困難

○フレイル項目の該当数は、年齢が上がるに伴い多くなる傾向にある。

■フレイル項目

項目	回答数
休まずに一人で歩ける距離	
100m程度まで	9
外出には誰かの介助が必要	19
普段の生活について（複数回答）	
歩行中につまづくことがある	124
階段を上がる時に手すりが必要	169
2kg（牛乳パック2個）程度の買い物をして持ち帰るのが困難	87
上記のいずれも該当しない	685
空白	19
総計	966

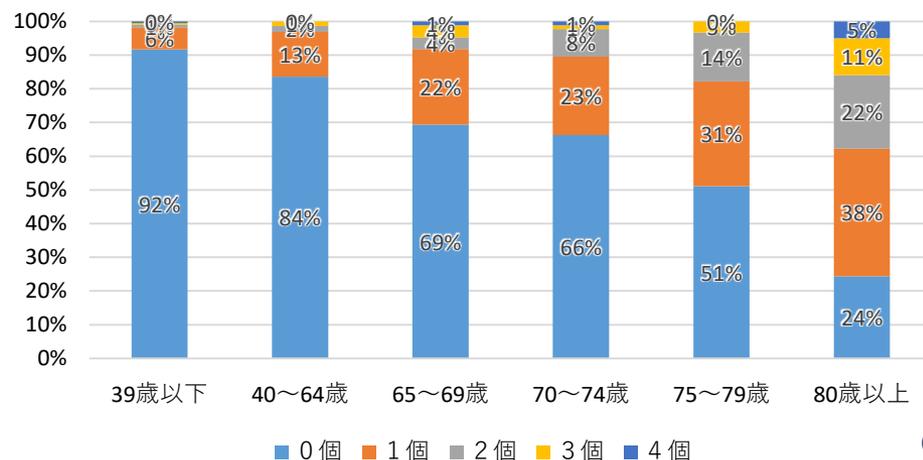
フレイル項目に該当する数 n=966



・年齢別フレイル項目該当数

	39歳以下	40～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	空白	総計
0個	188	316	59	57	46	29	2	697
1個	13	50	19	20	28	45		175
2個	2	7	3	7	13	26	1	59
3個	1	5	3	1	3	13		26
4個	1		1	1		6		9
総計	205	378	85	86	90	119	3	966

【年齢別】フレイル項目に該当する数 n=966



2. 回答集計結果

自宅周辺での移動について困りごとの有無

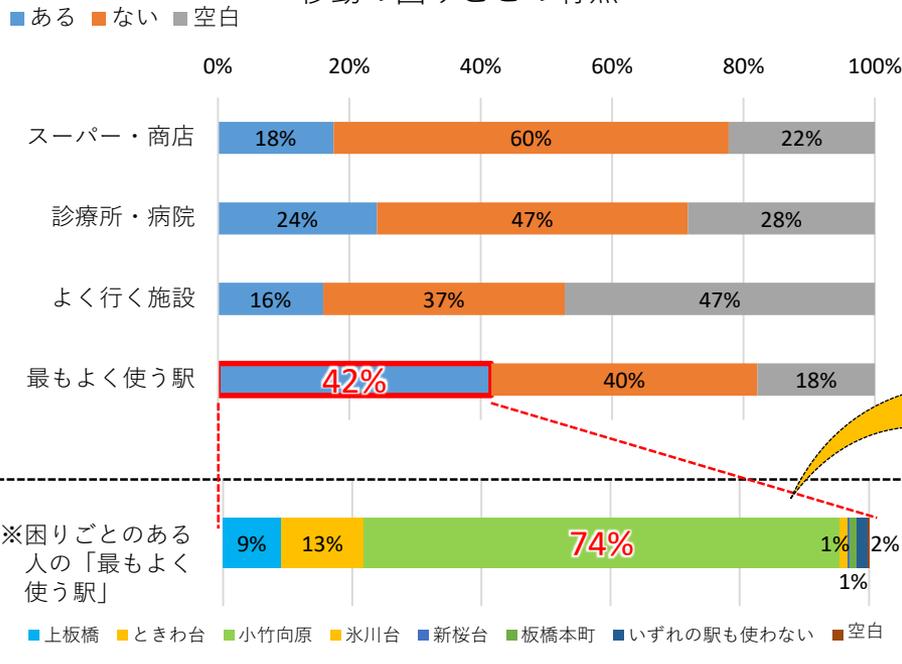
- 「最もよく使う駅」までの移動に困っていることがあるとの回答が最も多い。
- 小竹向原駅への移動に困っている人が多く、年齢別にみると約3～4割が65歳以上の高齢者である。

困っていること	ある	ない	空白
スーパー・商店	170 (18%)	581 (60%)	215 (22%)
診療所・病院	234 (24%)	457 (47%)	275 (28%)
よく行く施設	155 (16%)	355 (37%)	456 (47%)
最もよく使う駅	402 (42%)	391 (40%)	173 (18%)

駅別・年齢別	上板橋駅	ときわ台駅	小竹向原駅
39歳以下	9	10	77
40～64歳	16	20	143
65～69歳	3	2	25
70～74歳	2	8	21
75～79歳	5	8	29
80歳以上	4	8	25
総計	39	56	320

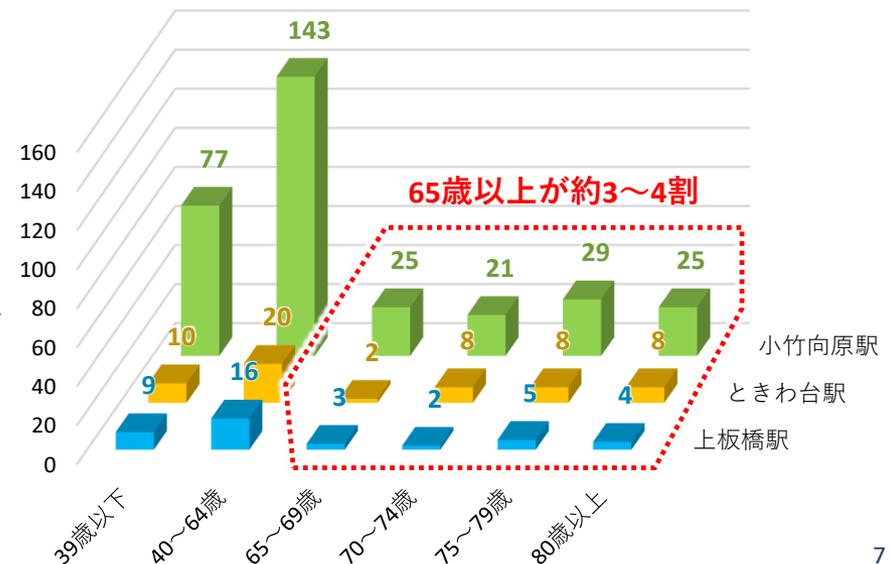
移動の困りごとの有無

n=966



駅への移動に困りごとがある人 (年齢別)

n=415

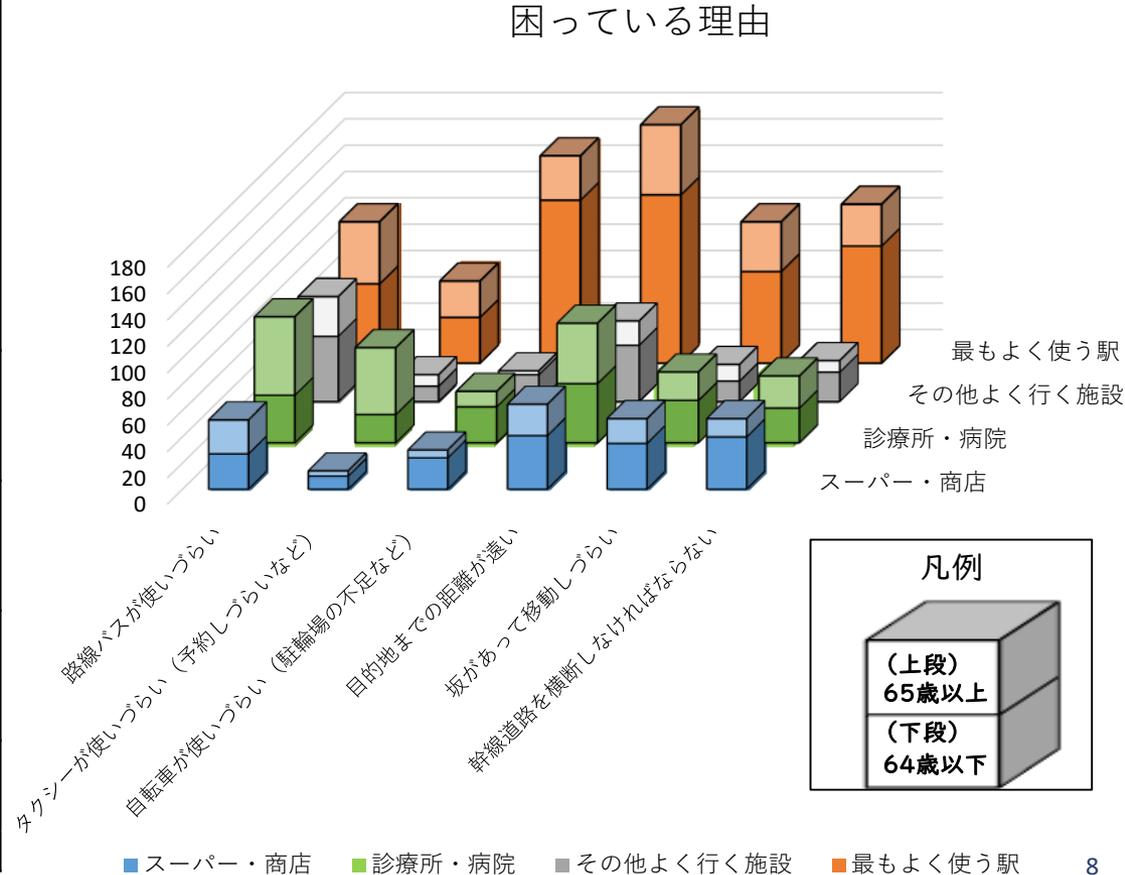


2. 回答集計結果

自宅周辺での移動について困っている理由

○最もよく使う駅までの移動に困っている方は「目的地までの距離が遠い」「自転車が使いづらい」といった理由が多い。
 ○その他の良く行く施設までの移動に困っている理由として、全体的に「目的地までの距離が遠い」「路線バスが使いづらい」という回答が多い。

	路線バスが使いづらい	タクシーが使いづらい (予約しづらいなど)	自転車が使いづらい (駐輪場の不足など)	目的地までの距離が遠い	坂があつて移動しづらい	幹線道路を横断 しなければならない
スーパー・商店	(26) 54	(4) 15	(6) 31	(24) 65	(19) 55	(14) 55
診療所・病院	(61) 99	(52) 76	(12) 41	(47) 93	(22) 56	(25) 53
その他よく行く施設	(31) 83	(9) 22	(3) 25	(19) 63	(13) 30	(9) 33
最もよく使う駅	(46) 106	(27) 62	(33) 155	(52) 177	(37) 106	(31) 119



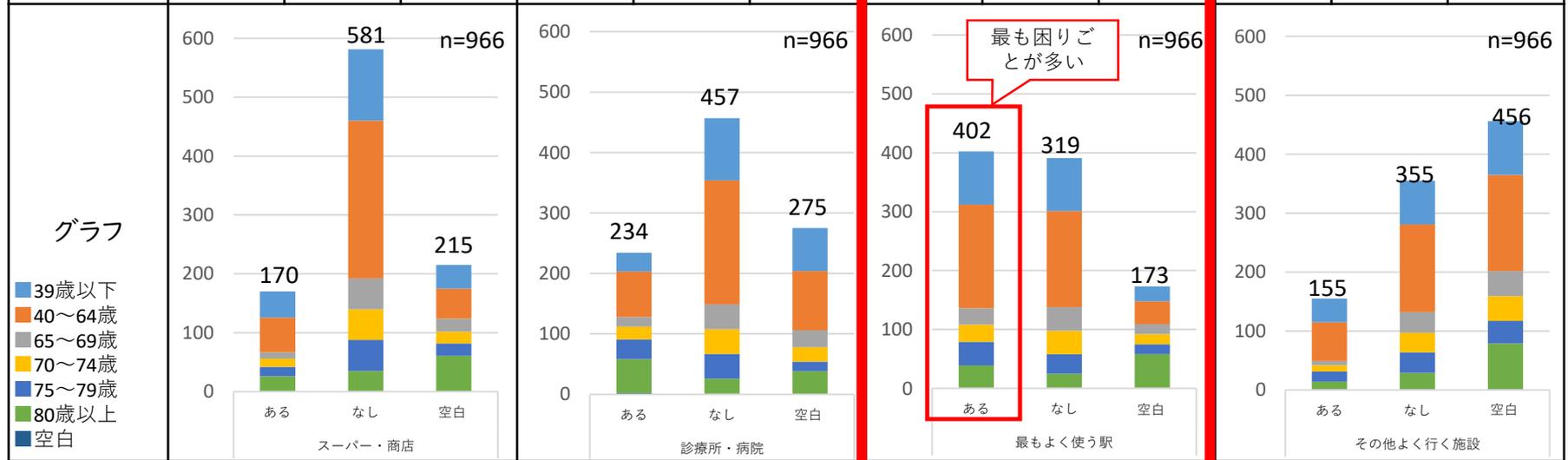
※()内は65歳以上の数

2. 回答集計結果

自宅周辺での移動について困りごとの有無(年齢別)

○「最もよく使う駅」までの移動に困っていることがあるとの回答が最も多い。
 ○困りごとが「ある」の回答が「ない」を上回るのは、「最もよく使う駅」である。(赤字部分)

	スーパー・商店			診療所・病院			最もよく使う駅			その他よく行く施設		
	ある	なし	空白									
合計	170	581	215	234	457	275	402	319	173	155	355	456
39歳以下	44	121	40	31	103	71	90	90	25	40	74	91
40～64歳	59	268	51	75	205	98	176	163	39	66	149	163
65～69歳	11	52	22	16	41	28	28	40	17	7	35	43
70～74歳	14	52	20	21	41	24	29	40	17	11	33	42
75～79歳	16	53	21	33	41	16	40	33	17	17	35	38
80歳以上	25	34	60	56	25	38	38	24	57	13	28	78
空白	1	1	1	2	1	0	1	1	1	1	1	1

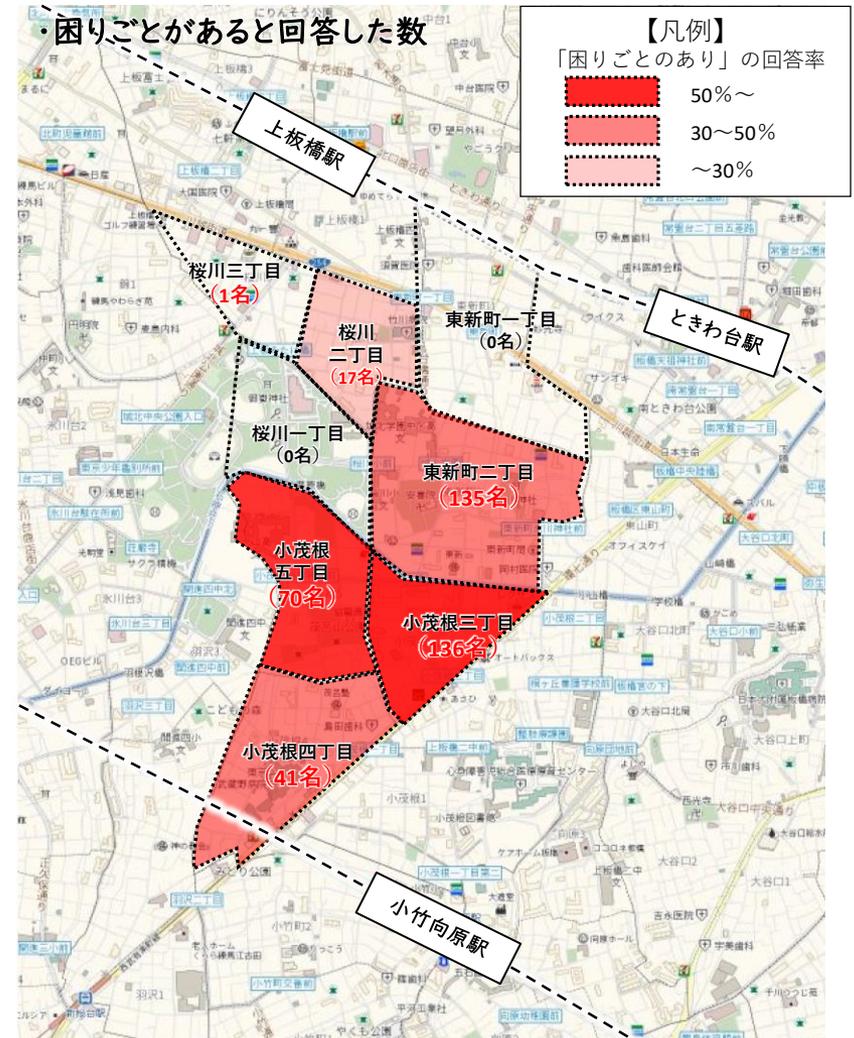


2. 回答集計結果

自宅周辺での移動について困りごとの有無(住所別)

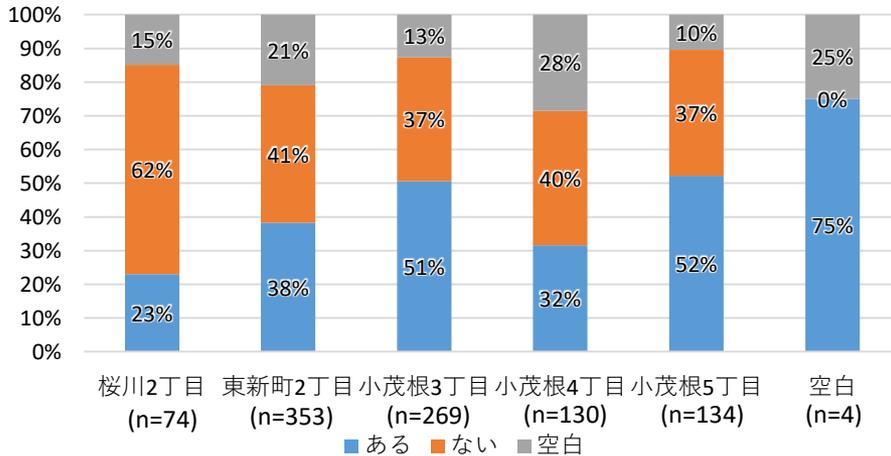
○住所別の困りごとの有無は、東新町二丁目・小茂根三丁目など、駅の間位置する地域で高くなる。

住所	ある	ない	空白	総計
桜川2丁目	17	46	11	74
桜川3丁目	1	0	1	2
東新町2丁目	135	144	74	353
小茂根3丁目	136	99	34	269
小茂根4丁目	41	52	37	130
小茂根5丁目	70	50	14	134
空白	3	0	1	4
総計				966



駅への移動に困りごとのある人の割合 (地域別)

n=966



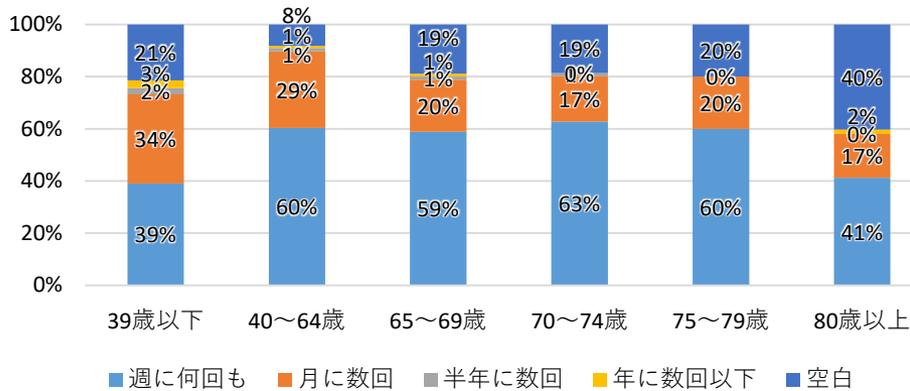
2. 回答集計結果

自宅周辺での外出頻度について(年齢別)

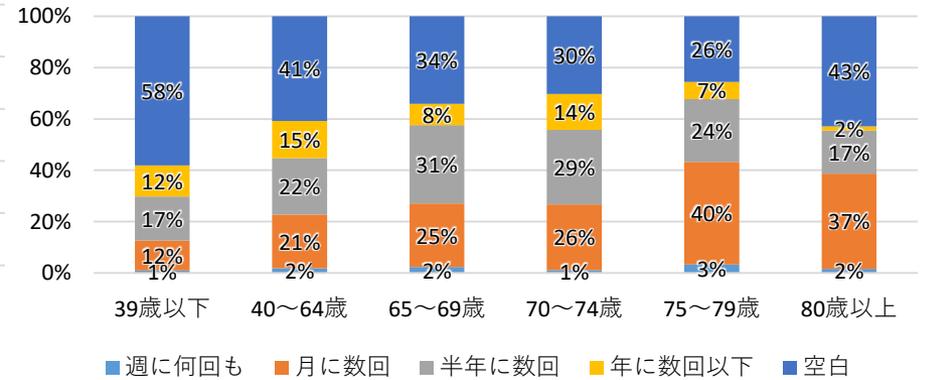
大半が月に数回～半年に数回と他の移動と比べて移動する頻度・需要は少ない

○「最もよく使う駅」への移動が、年齢があがるにつれて減少していく。
(通勤等による駅利用の減少が主要因と思われるが、外出機会の減少に伴う体力の衰えが進行する可能性も考えられる。)

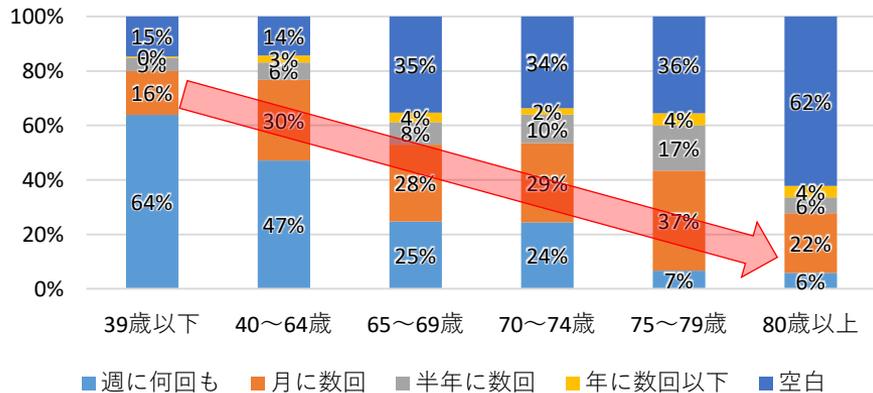
年齢×外出頻度 (スーパー・商店) n=966



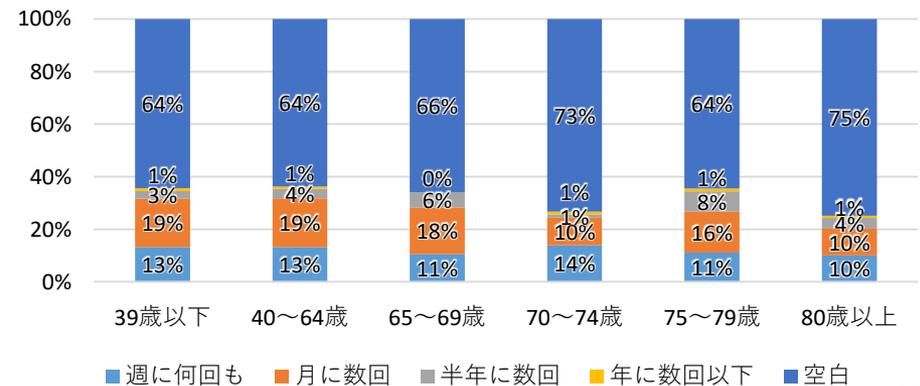
年齢×外出頻度 (診療所・病院) n=966



年齢×外出頻度 (最もよく使う駅) n=966



年齢×外出頻度 (よく行く施設) n=966



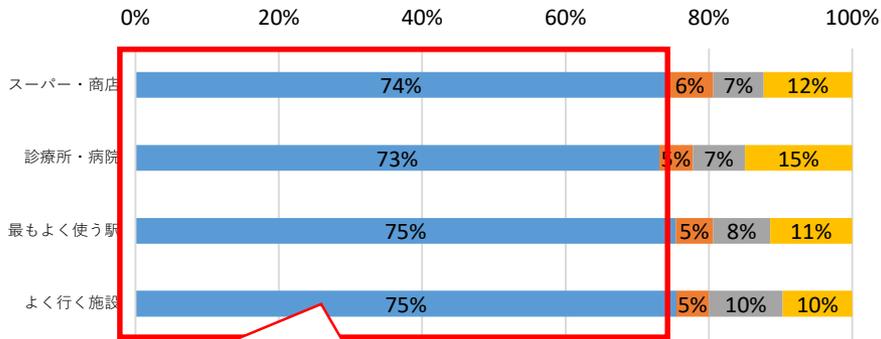
2. 回答集計結果

既存の公共交通が改善された場合の利用意向(各外出先への移動に困っていると回答した人の意向)

○路線バス・タクシーのサービスが改善した場合、「池55系統」の利用意向は高く出ている。

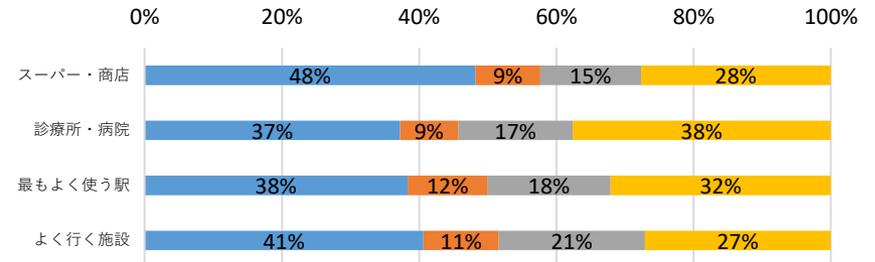
●地域と路線バスの運行場所との距離が近ければ利用意向が高く、バスの運行場所が遠ければ利用意向は低く出るとも考えられる。

【池55系統】 今後利用しようと思うか n=966

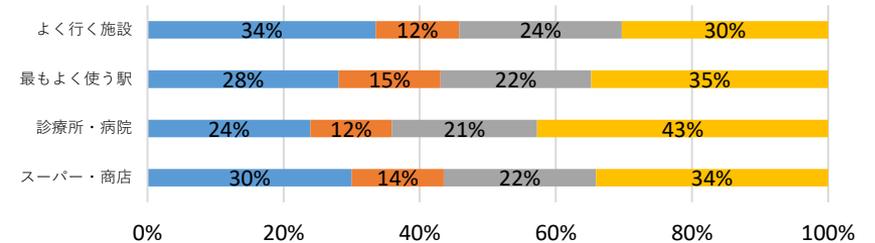


路線バスの改善※による「池55」の利用意向が高い
(※バス停が近くにある・日中の便数増加など)
しかし現実として、利用者数は少ない

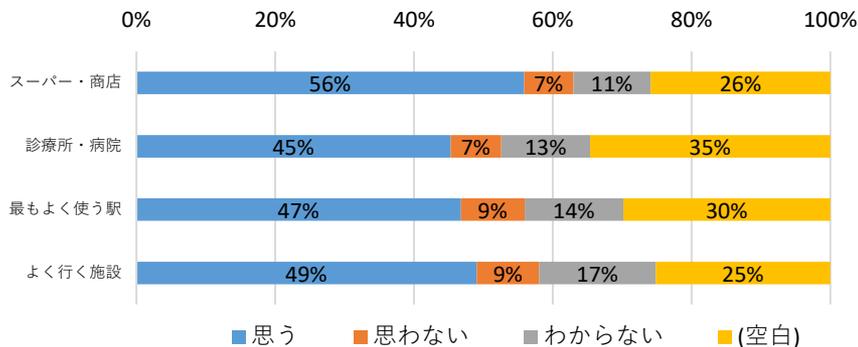
【王78系統】 今後利用しようと思うか n=966



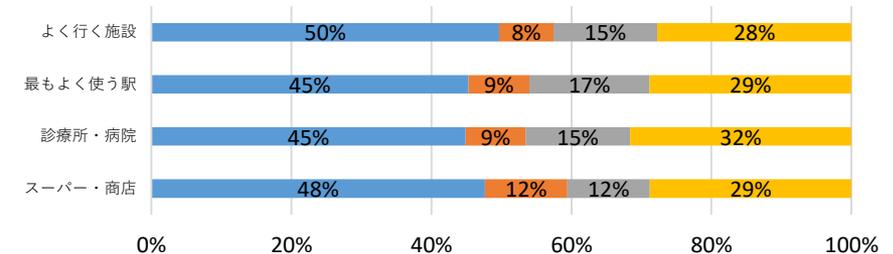
【光02系統】 今後利用しようと思うか n=966



【赤31系統】 今後利用しようと思うか n=966



【タクシー】 今後利用しようと思うか n=966



2. 回答集計結果

新たな交通手段の利用について

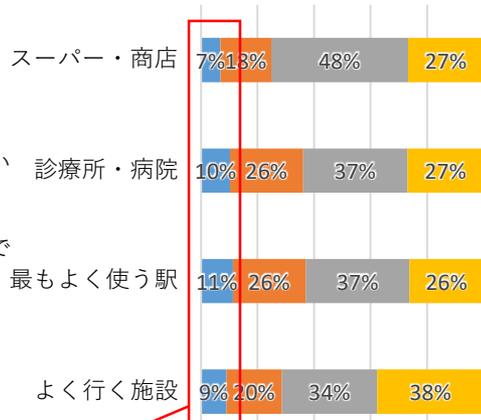
A乗合交通：
Bタクシーの相乗り：
C助け合い交通：

積極的に利用したい方は約1割、時間帯や天候次第で利用したい方は約2割

	A乗合交通				Bタクシーの相乗り				C助け合い交通			
	積極的に利用したい(日常的に利用)	時間帯や天候次第では利用したい	利用しない	空白	積極的に利用したい(日常的に利用)	時間帯や天候次第では利用したい	利用しない	空白	積極的に利用したい(日常的に利用)	時間帯や天候次第では利用したい	利用しない	空白
スーパー・商店	66	174	468	258	20	105	557	284	47	123	512	284
診療所・病院	100	249	357	260	39	166	454	307	78	166	425	297
最もよく使う駅	109	249	355	253	53	166	458	289	88	173	427	278
よく行く施設	87	190	326	363	42	134	399	391	66	120	392	388

A乗合交通の利用意向 n=966

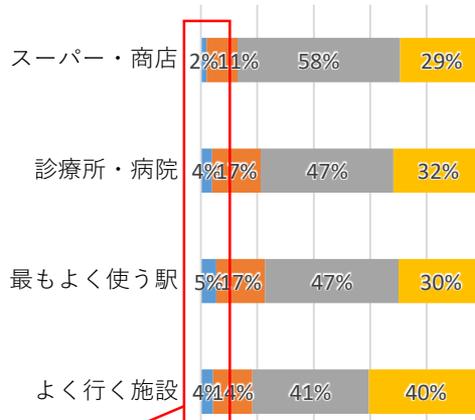
0% 20% 40% 60% 80% 100%



積極的な利用意向は平均約11%

Bタクシー相乗りの利用意向 n=966

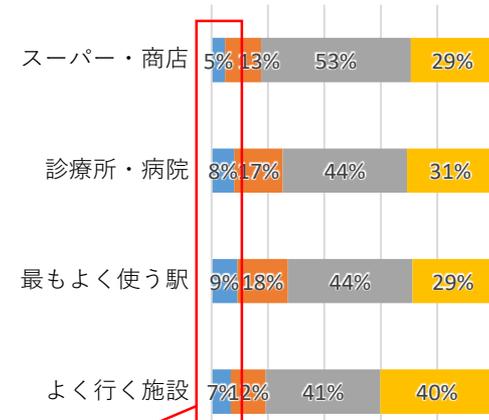
0% 20% 40% 60% 80% 100%



積極的な利用意向は平均約5%

C助け合い交通の利用意向 n=966

0% 20% 40% 60% 80% 100%



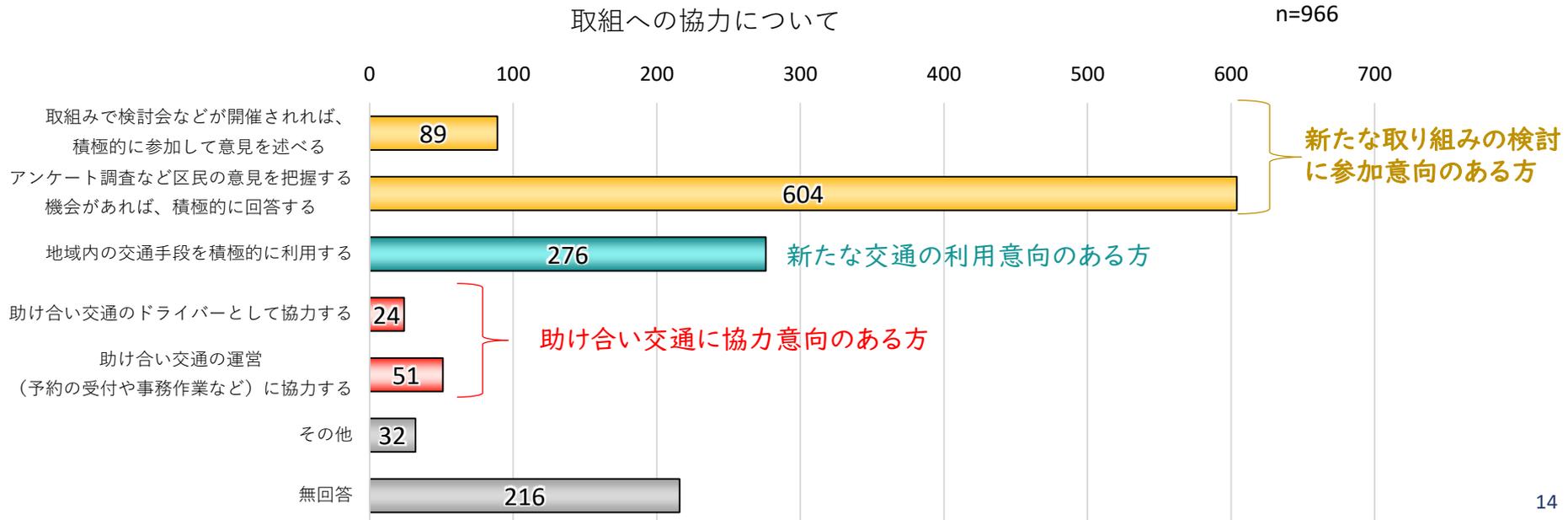
積極的な利用意向は平均約9%

2. 回答集計結果

取組への協力について

- 「アンケートなどの積極的に回答する」と回答した方が最も多く、次いで「地域内の交通手段を積極的に利用する」と回答した方が多い。
- 「助け合い交通に協力する」と回答した方のうち、24名がドライバーとして、51名が事務作業などに協力すると回答があった。

取組みへの協力について（複数回答）	回答数	割合
取組みで検討会などが開催されれば、積極的に参加して意見を述べる	89	9%
アンケート調査など区民の意見を把握する機会があれば、積極的に回答する	604	63%
地域内の交通手段を積極的に利用する	276	29%
助け合い交通のドライバーとして協力する	24	2%
助け合い交通の運営（予約の受付や事務作業など）に協力する	51	5%
その他	32	3%
無回答	216	22%
総計	966	100%



アンケート集計結果ポイントのまとめ

①基本情報

- 年齢 … 比率としては、高齢者の回答が多く集まっている
- 移動手段 … 徒歩がメイン、次いで自転車
- 最もよく使う駅 … 小竹向原駅が大半で、ときわ台駅、上板橋駅と続く
- フレイル項目該当数 … 高齢になるに従い増加(医療関係の調査結果と同じ傾向)
- 困りごと … 最もよく使う駅への移動での困りごとが最多、その駅も小竹向原駅が最多
- 外出頻度 … 買物、駅への移動の頻度が高い。高齢になるに従い、駅への移動頻度が大きく減少
診療所・病院への移動の頻度は、月に数回～半年に数回が大半

⇒ 買物での移動・駅への移動が頻度が高く、また、小竹向原駅への移動についての困りごとが多い。

②困りごとと新たな交通手段について

- 困りごと … 困りごとの「ある」という回答が「ない」を上回るのは、「最もよく使う駅」への移動
- 困る理由 … 目的地までの距離が遠い、自転車が使いづらい、バスが使いづらい
- 新たな交通手段 … 乗合交通が少し高め

⇒ 駅への移動の困りごとを解消するためには、以下の対応が考えられる

- ・駅周辺の施設の整備(駐輪場などの整備による自転車利用環境の向上)
- ・新たな交通手段の導入(乗合交通が利用意向高めだが、助け合い交通への協力意向も一定数確認)